

## 誰もが持っているアラヤ識の活用による楽々成功術

世の中において成功する人と失敗する人の差は、ほんの紙一重に過ぎません。それは人生における成功法則を知っているか、知らないか、ただそれだけのことです。そして、その**成功法則**は世の中に厳然と存在しているようです。

開運・成功・健康・幸福・リラックス・富などを作り出す、阿頼耶識（アラヤシキ）による独自の**願望達成法**を、やさしいイラストで紹介します。



阿頼耶識（あらやしき＝心理学でいうところの潜在意識のこと）とは万人の心の奥深い所に宿る記憶の貯蔵庫のことです。しかし、それは単に記憶を貯蔵しておくだけでなく、その貯蔵された記憶を用いてその人の未来を描き出す運命の創造所でもあるのです。不運・不幸の人はアラヤにあらかじめ収めておいたものが現在立ち現れてきている姿なのです。ではそこに収めるものとは何でしょうか。それは「思考」です。我々は自分の思考をコントロールし、それをアラヤに収めることによって、自分の人生に幸運をもたらすことが出来るのです。

※下記サイトで関連情報をご覧いただけます。

☆ツキを呼ぶ100の法則 <https://www.tukix.net/tuki100.html>

☆成功術入門！第一章 <http://success1.yanaq.com/>

☆開運術入門！第一章 <http://happy1.yanaq.com/>

☆無能流幸福哲学講座 <http://kouza.yanaq.com/>

インドにある高い山、ヒマラヤの名前の意味をご存知でしょうか？あれはサンスクリット（古いインド語）でヒマ（雪）と、ラヤ（蔵）、つまり「雪の蔵」という意味なのです。このラヤの上にアの字を付けると、蔵に納める、すなわち貯蔵しておくということになり、「アラヤ」とは**記憶の貯蔵庫**という意味です。

---

このアラヤ（アラヤ識ともいう）とは、現代の精神分析学でいう深層意識または潜在意識というものと非常に近い意味を持っております。しかし、現代の潜在意識は、主として人間の心の医療的な面だけの問題として取り上げられているのに対し、このアラヤ識は、人間のあらゆる運命がこれによって形づくられている、というのです。このアラヤ識の特性の一つとして、**強く思念された考えは、その中に貯えられ、熟成し、やがて未来に実現してくる**、ということがあります。では、ここで、その実例の一つをご紹介します。

---

S子さんは、アメリカ在住が長かったので英語の堪能なキャリア・ウーマンです。彼女は私に、スポーツカーを長い間欲しがっているのだが、アラヤ識を使って、それを手に入れることは出来ないものか、と尋ねたのです。「スポーツカーといっても、いろいろありますが、どんな車が欲しいのか、まずその車種をきめなければなりません」と私はいいました。「日産の〇〇が欲しいのです」とS子さんはいいました。そこで私は、「そうですね。では、あなたはまず、その〇〇のカタログをすぐさま手に入れなさい。そして、その車のグラビアを毎日毎日眺め続けなさい。また、自分の好きな車の色をきめることも必要です。こうして、目をつぶればそのあなたの〇〇が、**ありありとイメージとして心の中に見えてくるようにしなければなりません**。その上に、もし出来たら、その〇〇に試乗してみる事です。そして、そのハンドルの手ざわり、アクセルやブレーキの踏み具合を身体で覚え、それを記憶するのです。そして、瞑想に入り、うっとりとした気分になってきたところで、その〇〇のイメージを思い浮かべ、実際にそれを運転しているように空想します。

これを、何回も繰り返していると、やがて、本当に、その車に乗っているような気分になってきます。このような現実感がイメージの上に加わってきた時、**その思念は確実に、あなたのアラヤ識に送り込まれているのです。**こうしていれば、やがてあなたは〇〇を手に入れることになるでしょう」といいました。

---

その日から一ヶ月もしない内に、私はS子さんから、〇〇が手に入ったとの報告を受けました。彼女はそれまで二年以上も、〇〇を欲しがっていました。ところが突然、彼女の友人の男性が会社命令でアメリカに転勤することになり、彼の所有していた〇〇をSさんにほとんど捨てて値同然で譲ってくれたのです。しかし、この場合、アラヤ識に思念を送り始めるという行は、一ヶ月前の私のアドバイスの時より二年前から行なわれていたことに注目してください。つまり、アラヤの中で二年という**願望の熟成期間**があったのです。ただ一ヶ月前からのそれは、非常に効率の良い方法を用いたので、一気にその願いが完成したという訳です。

---

このように、潜在意識アラヤには確かに、その人の願ったことを実現しようとする働きがあります。しかし、そのためには大切な欠くべからざる条件がまず二つあるのです。それは、

- 一、繰り返し考えること。
  - 二、できるだけ細部まで、絵のように心に思い描くこと。
- 

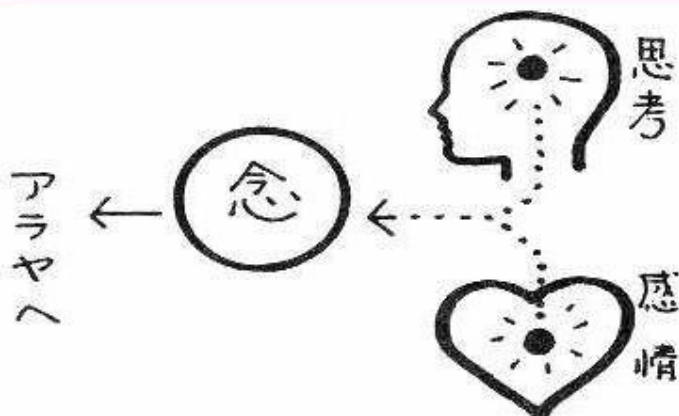
この二つの思考法を続けることによってのみ、アラヤ識は、その望みを受け入れてくれるのです。このアラヤ識は、たとえ頭脳の普通意識の方が眠っている時でも働き続けています。というより、あなたが誕生した瞬間より、その肉体が死ぬ日まで一瞬たりとも休むことなく活躍し続けているのです。眼、耳、口などの五官を備えさせ、手足を生やし、人間という形態を創造し、かつ

それを活動せしめている根元力こそ、このアラヤ識なのです。このように、アラヤ識は、人間という個体を生じさせ、また活動させる機能を有しているのですが、その上に、特に注目せざるを得ないことは、「アラヤ識には、その人が願っていることを実現しようという働きがある」、という点です。このアラヤ識の機能を意識的にしろ、また無意識の内にしろ、上手に用いた人だけが、この世の中の成功者たり得るのだ、と私は思うのです。





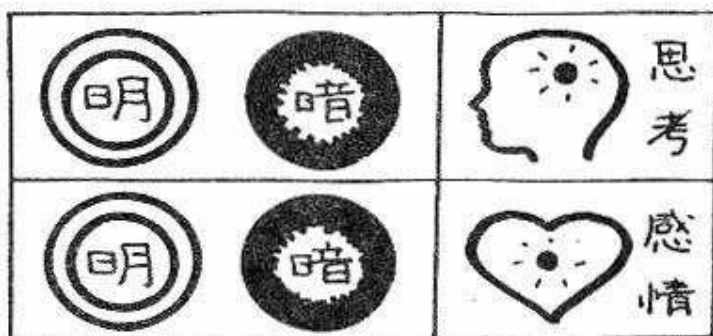
1 心に思ったことは、すべて心下意識アラヤに貯えられて、未来において、それは実現する。心下意識は良いもの悪いものを選択する力はない。



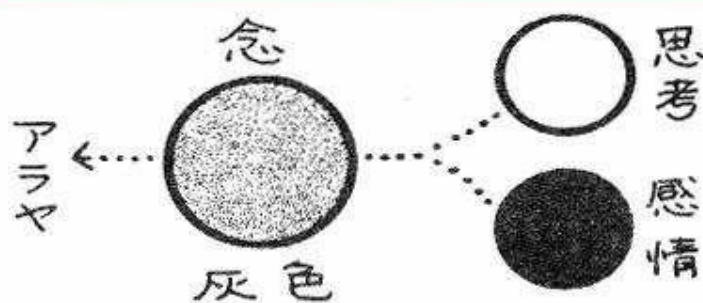
2 思っただけでは、アラヤには入らない。それは念となった時、入る。念とは、思考に感情が加わった状態である。



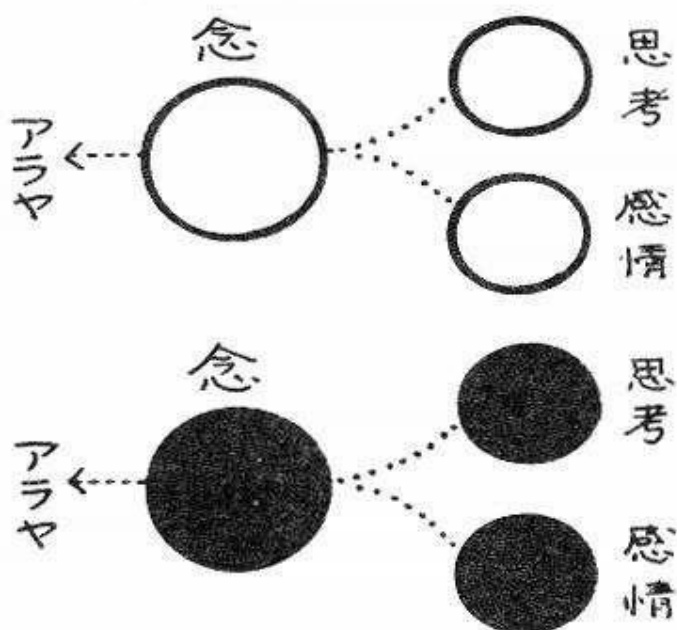
3 念は因であり、未来の実現は果である。因がアラヤに入った時、果への縁は起きる。因は果へ縁づけられたので、これを因縁と呼ぶ。また、縁起とも呼ぶ。



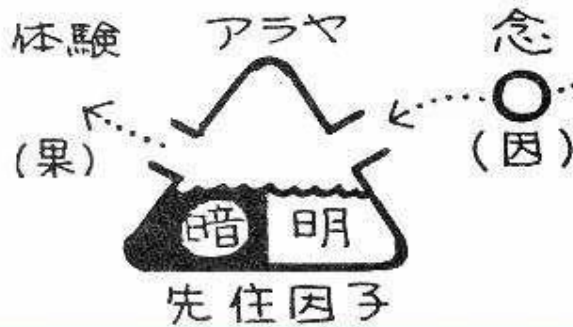
4 万象に陰陽があるように、思考感情にも、その二種類がある。



5 思考が明るくても感情が暗ければ、その念はその中間の灰色となる。

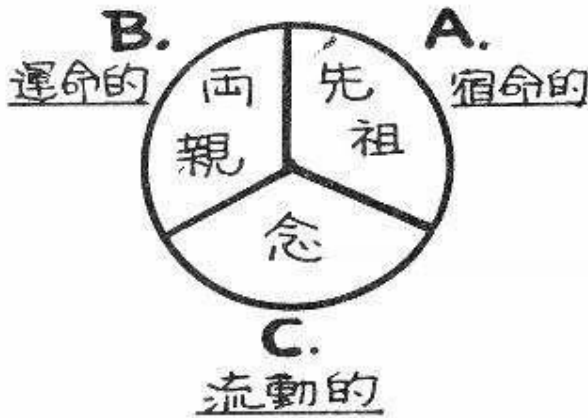


6 思考が明るく(成功・健康など)、感情も明るければ(喜び・感謝など)、その念も明るくなる。  
思考が暗く(失敗・病気など)、感情も暗ければ(不平・愚痴など)、その念も暗くなる。

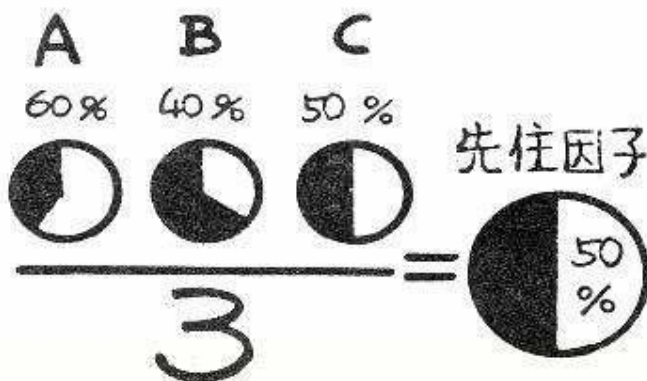


7 念は因となってアラヤに入ると、その中の先住因子と混和するが、その先住因子も明暗の比率が人によって異っている。

### ＜先住因子の内容＞



8 先住因子は大別すると三つの要素で合成されている。それは、先祖から受けついだ部分、両親から与えられた部分、自分の思考と感情を用いて念を作り、それを貯蔵してきた部分の三つである。



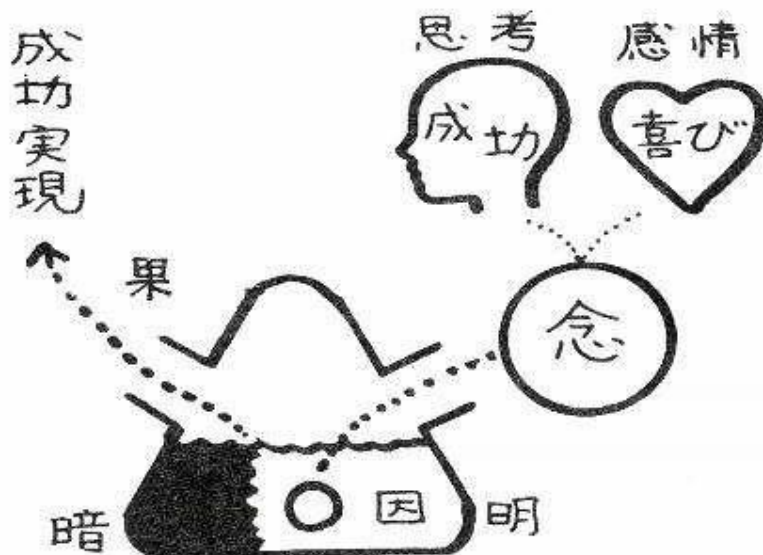
9 先住因子の明暗度は、A B C 三つの明暗度の合計によって定まる。三つを足し、3で割ったものがその明るさの度合いである。



**10** 先住因子が暗ければ、明るい因をアラヤに入れても、それは暗くなってしまう。すなわち、成功、富、健康への希望はなかなか達せられない。



**11** しかし、にごった水でも、毎日そこへ透明なしずくを落として行けば、遂にその水は澄んでしまうように、暗い先住因子も、明るい念を毎日そこへ入れていけば、やがては明るいものとなってしまふ。



**12** アラヤの中の先住因子の明るさが増せば、明るい因はそこに入って育成され、やがて果となって実現する。



## 楽する人

簡単に言えば、心に絶えず思っていることはアラヤ識に入り、熟成され、やがてはそれを体験することとなるのです。これは良いことを思えば良いことを体験し、悪いことを思えば悪いことを体験するという意味です。ですから成功したい人は、絶えず自分が成功した時の姿を思い描いていることが必要なのです。反対に心配なこと不安なことを思っている人には、その通りの不運な人生が展開してきます。だからアラヤ識を動かすためには、心が平和でなければなりません。つまり心がまず楽をしていなければならないのです。心が「楽する人」であるならば、まもなくその人の人生そのものも「楽する人」になります。

無能唱元事務所  
企画制作 ウンクルハウス

☆ツキを呼ぶ100の法則 <https://www.tukix.net/tuki100.html>

☆成功術入門！第一章 <http://success1.yanaq.com/>

☆開運術入門！第一章 <http://happy1.yanaq.com/>

☆無能流幸福哲学講座 <http://kouza.yanaq.com/>

※ 本レポートの無断転用・転載は禁止しますが、ホームページ、メールマガジン、ブログ等でのご紹介は大歓迎です。是非、ご紹介ください。

※ 本レポートのアドレス [https://kouza.yanaq.com/pdf/ara\\_success.pdf](https://kouza.yanaq.com/pdf/ara_success.pdf)